

会議等報告書

令和8年5月26日

報告者氏名	生涯学習応援課 平井 海希	編集綴	まちづくりセンター
日時	令和8年5月26日(火) 10:00~12:30		
場所	コンベンションホール		
出席者	委員・事務局：別紙名簿+生涯学習応援課片田、平井 ※山口副委員長（オンライン参加） アクティオ(株)：宮野・日置・吉田・小林		
欠席者	尾崎委員、兵藤委員、寺井委員、豊田委員、東委員、黒川委員、上原委員		
議題	第5回全世代・全員活躍まちづくりセンター運営評価委員会		
<p>1 開会</p> <p>2 報告 全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事進捗状況について オープニングについて</p> <p>3 議題 令和7年度まちづくりセンター開館準備業務 運営評価 令和8年度まちづくりセンター開館準備業務 業務計画</p> <p>アクティオ(株)による令和7年度の開館準備業務内容の説明を基に、評価シートを用いながら、各項目について評価及び意見交換を行った。</p> <p>■報告 全世代・全員活躍まちづくりセンター建築工事進捗状況について 和田企画財政課長より説明 資料を基に工事の進捗状況について説明 ホルムズ海峡等の影響も懸念されるが、必要な材料は概ね手配できるとの報告を受けている</p> <p>■報告 オープニングについて 星野課長より説明 資料をもとにグランハットオープンフェスタ（案）について説明 〔質疑〕 駐車場の台数何台くらい収容できるのか。備品については議決を必要とするものもあるのでは ⇒駐車場は約170台程度を想定。備品については6月議会での議決を予定。 ⇒オープニング時駐車場不足が懸念。来賓等が車を止められたうえで、住民の方が止められないと いったことがないように。 ⇒式典等についてのスケジュールを関係者へ早めに共有を</p> <p>■議題 令和7年度まちづくりセンター開館準備業務 運営評価 令和8年度まちづくりセンター開館準備業務 業務計画</p> <p><u>各種庁内協議</u> 図書の置き方は。全てブックラウンジに置くのか。イスの置き方は。予約無く訪れられる場所 どの程度設置されているか →主たる置き場はブックラウンジ。子ども向けの書籍の一部は児童コーナーにも設置予定。 →またイスについては50前後の設置数となる見込み。 →様々な機能を全部詰め込もうとすると失敗する。ブックラウンジに来る人が固定化するといった</p>			

ことは避けたい。ふらっと来た方が手に取りにくいといったことがないように。本が多ければよいというわけではない。

本項は事務局案のとおり、「A」評価でよろしいか。

→異議なし。

町民への当施設の理解促進

館内平面図に諸室が記載されているが、貸館の対象はどうなっているか。

配架予定の図書についてはどのように選ばれたのか。

→貸館対象となる諸室について説明

→図書の内容については、生涯学習応援課とアクティオ（株）で協議しながら選定を進めた。選定にあたっては町立図書館からのアドバイスももらっている。選定の基準としては、施設を訪れた様々な方が興味をもっていただけるよう、可能な限り多様なジャンルの書籍を揃えるようにした。またこれら書籍が施設を訪れた人同士のコミュニケーションツールとなると共に、新たな活動のきっかけの一助となることを目指している。

療育の部屋について砂遊びや水遊びができるところはあるか。

→砂遊びはない。水遊びは外側にビニールプールを展開して実施することは可能。

建築現場見学会に参加させてもらった。ただ、まちづくりセンターの認知や各イベントの実施などの情報について、一定の範囲に留まり、広がりが乏しいように感じている。なぜそうなっているのか、どうすれば改善するのか考えているが今のところ答えが見つけれずにいる。

本項は事務局案のとおり、「A」評価でよろしいか。

→異議なし。

機運醸成と町民参加促進支援

プレ事業（ミニくみ）の写真を見たが小さい子はどのようにして来場しているのか。

→保護者に送ってもらっている。近い子は自ら来ている。

校区外活動となるので保護者の同伴が必要となる。しかし保護者の関心や余裕があるかないかによって体験格差が生まれる。子どもが選択できない状況。町内で検討が必要。

→アウトリーチ事業なども展開していく。

中高生・大学生が担い手として活躍してもらいたい内容がない。どのようにアプローチしているのか。

→オープニング、高校との連携した居場所づくりなども動きは始めている。

評価についてはBとなっているが、内容が企画運営委員会の活用とあるが、企画運営委員会が中心になりすぎると固定化してしまい、広がらなくなってしまう。そのあたり工夫が必要。

本項は事務局案のとおり、「B」評価でよろしいか。

→異議なし。

ブランディングと広報

最初の1ヶ月に実施するオープニングが重要。お客さんが来るだけでなく、9割お客さん、1割は参加できるような仕掛けづくりが大切。次に繋がる仕掛けづくり。

SNSの活用が大切。いきいきと活動できる場所であることを知っていただく必要がある。そのあたりアクティオ様はなにか考えられているか。情報公開の頻度が大切である。また町全体で（町の広報等）お願いしたい。

→いままでは情報を控えていたが、オープン日が解禁されたので今後は具体的な事業案内や技術的なことを含めて積極的に情報発信していく。

本項は事務局案のとおり、「B」評価でよろしいか。

→異議なし。

広報の成功が施設や町のブランディングに繋がるためB評価とさせていただく。

業務推進・自主事業推進

久御山町には公益財団法人文化スポーツ事業団がある。そのため教育委員会には連携調整をお願いしたい。お互い活用し連携することで文化や芸術、スポーツを高めてもらいたい。

本項は事務局案のとおり、「A」評価でよろしいか。

→異議なし。

人事配置や人材育成について、予約システムや事業計画、業務マニュアルの検討ができているとあるが、今年度はすでにそれが完成していて内容について検証していく必要があるため、スピード感をもって実施いただきたい。

4 閉会

委員会としてのコメントは、各委員のコメントを参考にしながらまとめて委員会としてのコメントとする。